

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	療養生活環境整備事業				シート番号	011-219	
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	保健所 保健医療	課 評価責任者(課長名)	藤川

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け	
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無	
	2	事業開始年度	平成 8 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	難病の患者に対する医療等に関する法律(難病法)、療養生活環境整備事業実施要綱				
	4	関連計画					
5	事業実施の経緯	平成24年度までは難病患者等居宅生活支援事業に基づき、ホームヘルパー派遣事業及びホームヘルパー養成研修を交互に実施していたが、平成25年4月の障害者総合支援法施行に伴い、ヘルパー派遣事業は障害福祉サービスに変更されたため終了。平成27年度以降は難病法に定める療養生活環境整備事業の一環として実施している。また、平成30年度からは、大阪府からの権限移譲に伴い、難病患者支援センター事業や在宅人口呼吸器使用患者訪問看護業務を含めて再編し、事業名を「療養生活環境整備事業」と改めた。(「難病患者支援事業」のシート参照)					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )					
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	難病患者とその家族、市内で難病患者等に対しホームヘルプサービスを提供する事業所のサービス担当者					
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	難病患者の療養生活の質の向上や在宅での適切な医療の確保を目的とする。					
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<p>○難病患者等を担当するホームヘルパーの資質向上を図るため、専門の養成機関等に委託してホームヘルパー養成研修を実施する。介護職員初任者研修修了者などを対象に、難病基礎課程Ⅰ及び難病基礎課程Ⅱに分けて、各1日を予定(定員各50名)。</p> <p>○難病患者支援センターの管理運営を大阪府特定疾患研究会に委託し、患者交流会や疾病別の学習会、患者会活動の支援、ピアサポート等、難病患者支援の拠点として事業を展開する。</p> <p>○在宅で人工呼吸器を使用している指定難病患者に対し、医師の指示のもと診療報酬で定められた回数を超える訪問看護を受ける場合、その回数を超えた訪問看護にかかる費用を公費負担する。</p>					
10	直接実施以外の主な支出先	大阪府特定疾患研究会、医療法人寿暁会おさわ、クリニック、地域ケアステーション八千代・訪問看護ステーション						

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	665	339	29,038	29,407	32,185	31,445	32,370	
主な事業費内訳	ホームヘルパー養成研修	千円	600	339	600	250	400	42	400
	難病患者支援センター事業	千円			24,737	24,737	24,967	24,967	25,197
	在宅人工呼吸器使用患者訪問看護業務	千円			3,492	4,412	6,538	6,390	6,521
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円	332	332	13,567	15,681	17,089	13,968	16,183
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他( )	千円							
一般財源	千円	333	7	15,471	13,726	15,096	17,477	16,187	
12 人件費 (b)	千円	2,050	2,050	5,330	5,330	5,265	5,265	4,920	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	2,715	2,389	34,368	34,737	37,450	36,710	37,290	

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	療養生活環境整備事業	シート番号	011-219
-------	------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

#### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績									
活動実績と成果	14	<p>○難病患者支援センターにおける、患者交流会や疾病別の学習会 【活動指標】研修会の参加者数(目標)600人 (実績)649人</p> <p>○難病患者支援センターにおける、電話や面談による相談 【活動指標】相談件数 (実績)935件</p> <p>○難病患者等を担当するホームヘルパーに対するホームヘルパー養成研修 民間業者と業務委託契約による講座については、コロナウイルス感染症の流行のため中止</p> <p>○在宅人工呼吸器使用指定難病患者に対する訪問看護 利用患者は増加傾向にある。 H30年度: 利用者6件 訪問件数849件 R元年度: 利用者8件 訪問件数1,314件</p>							
		15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			難病患者支援センターにおける学習会及び交流会参加人数	人	目標値	600	600	600	600
					実績値	786	660	649	
	達成率				131%	110%	108%		
	評価	大変良い			良い	良い			
	算出方法・設定根拠など 今回より参加人数に変更。実績及び新型コロナウイルスの影響を加味し設定								
	16	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		難病患者支援センターにおける電話、面談等による相談件数	件	目標値	—	—	—	—	
				実績値	732	927	935		
				達成率	—	—	—		
	評価			—	—	—			
	算出方法・設定根拠など 罹患している疾病や状況・状態によって相談時間や必要回数等が異なるため、目標値を設定することになじまない。								

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	難病患者支援センターにおける学習会及び交流会参加人数	人	786	660	649
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,686	3,685	3,574
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	4,690	5,583	5,507
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	難病患者支援センターにおける電話、面談等による相談件数	件	732	927	935
	②	上記①にかかる年間経費	千円	1,588	640	1,323
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	2,169	690	1,415
	備考(算出についての説明等)					

#### 業績の分析

19	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>・難病患者支援センター事業については、従来から実施している学習会・交流会の参加人数は若干減少傾向にあるものの、安定した実績を上げていると考える。</p> <p>・相談件数は大きく伸びており認知度の向上と利用者のニーズに合った事業展開を行い、一定の成果を上げていると考える。</p>

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	療養生活環境整備事業	シート番号	011-219
-------	------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒  確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 近年、難病患者及び家族の療養・生活支援におけるニーズが多岐にわたっており、事業を廃止すると難病患者の日常生活を脅かすことにつながる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 事業を休止すると難病患者の日常生活を脅かすことにつながり、難病患者の不安が増大する。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input checked="" type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> ホームヘルパー養成研修については、新型コロナウイルス感染症防止に配慮しつつ、民間事業者において、より効果的な手法で実施する。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> ホームヘルパー養成研修については、新型コロナウイルス感染症防止に配慮しつつ、民間事業者において、より効果的な手法で実施する。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (                      ) 関連事業名 (                      ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他(                      )	<b>理由・説明</b> ホームヘルパー養成研修については、新型コロナウイルス感染症防止に配慮しつつ、民間事業者において、より効果的な手法で実施する。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
	所見	ホームヘルパー研修は、民間事業者において、より効果的な手法で実施する。 患者交流会や学習会・相談会においては、感染症予防対策を講じながら適切に実施していく。		